

東京聖栄大学 後援会会報

編集発行
東京聖栄大学
後援会

◆祝 開学十周年記念◆

本学は、四年制大学として平成十七年に開学し今年十周年を迎えました。開学十周年記念式典が平成二十七年六月六日わたなべ記念館にて盛大に挙行されました。

松本信二学長の式辞から始まり、来賓より祝辞が述べられ、その後、日本総合医学会会長である渡邊昌先生による記念講演が行われました。



松本信二学長



日本総合医学会会長
渡邊昌先生

会長挨拶

後援会会長 鈴木 仁



日頃より、皆様方には後援会活動に多大なご尽力をいただき、またご指導、ご協力を賜りまして誠に有難うございます。不慣れな点が多々あるとは思いますが、新役員一同一致協力して後援会活

動を推し進めてまいりますので宜しくお願い申し上げます。

さて、今年度も多くの学生が入学し、ますます大学の規模も拡大しています。後援会もそれに見合った発展を遂げねばなりません。役員会では知恵を出し合いながら、学生または後援会の皆様にとって最適な方法を検討し対応することを心がけていきます。

来る十月三日(土)には後援保護者会が開催されその後、後援会懇親会が行われます。是非とも出席していただき、家族的

な大学の雰囲気味わっていただきたいと思えます。特にきめ細かさなどはマンモス大学とは異なります。こんなにも違うのかと感じるはずです。

また、後援会としての就職活動支援は、求人見込み先のデータや就職関連書籍の寄贈を通してより強固に実施しています。

本年度もより多くの皆様に後援会活動にご参加いただけるように活動してまいりますので、今後とも後援会活動にご支援とご協力をお願いします。

平成二十七年保護者会について

今年度の後援会・大学共催による保護者会を十月三日(土)に開催することとなりました。

保護者の皆様には、ご息女、ご息女の大学での様子、就職の展望等の報告について学年担任との懇談を予定しておりますので、ぜひご出席いただき、本学の教育内容について一層のご理解を深めていただきたいと思います。

保護者会終了後は、後援会主催による教員との情報交換の場として、学部長を始め学科長や学年担任、教科担当教員との懇親会(希望者のみ)を予定しております。

保護者の皆様のご参加をお待ちしております。



昨年度の保護者会

総会・役員会報告

役員会報告

二月二十八日(土)に役員会全体会が開催されました。

先ず、平成二十六年事業報告、同決算報告・会計監査報告があり、審議の結果、同報告は承認されました。

引続き、平成二十七年事業計画案同予算案を審議、夫々承認され、進級する役員の方の二十七年留任が決定しました。

総会

四月一日(水)の入学式当日、わたなべ記念館に於いて、ご父母(保護者)多数の出席を得て総会が開催されました。

初めに、昨年度の事業報告、同決算報告並びに会計監査報告があり、異議なく承認されました。

引続き、本年度事業計画案、同予算案が承認されました。

最後に、役員会の改選が行われ、選任・委嘱された新役員の方々のご紹介の後、新会長には鈴木仁氏が選任されました。

併せて、平成二十七年役員会の紹介があり、満場一致で承認されました。

尚、総会での決定事項は本学ホームページに掲載しています。

管理栄養学科

念願の国試合格率

一〇〇%達成!

管理栄養学科長 橋場 浩子



大学開学十周年というこの節目の年に、本学の第二十九回の管理栄養士国家試験の合格率は、初めて一〇〇%を達成することができました。これは、担任および国試対策室の先生方を始め、管理栄養学科の先生方が一丸となって指導した成果と思われまます。また、保護者の方のご支援のもとに学生たちも最後まで諦めず底力を発揮してくれたものと考えております。全国的にみると、新卒・管理栄養士養成課程百三十校中、合格率一〇〇%を達成したのは四十六校でした。本年度も担任が中心となり、新たに国試対策を工夫しながら指導しておりますので、良い結果が期待されます。

管理栄養学科では今年度初めて海外研修を行うことになりま

した。来年二月九日から六日間のロサンゼルスで研修を行います。これは、グローバルな人材を育成するという意味でも有意義であろうと思われまます。

教職課程(栄養教諭)が始まって今年度は二年目となり、いよいよ平成二十七年九月と平成二十八年二月の二回にわたって、小学校での学校ボランティア実習を行います。栄養教諭履修生は一期生としての自覚と誇りを持ち実習に臨んでほしいと期待しております。改修された四号館には、教職実践演習を主とした多目的演習室、教職課程センター、共通教育センターが設置され、大学の施設・設備も充実度を増してきました。

さて、学科では、葛飾区との包括連携協定の一環として、「かつしかの元気食堂」の展開に大きく貢献しており、九月一九日(土)には、一周年記念式典、試食会、区民への栄養相談・指導も行われました。

また、秋田県の稲庭うどん協会との共同研究



かつしか元気食堂レシピコンテスト

にも漆器利用に向けた新たな展開が始まっております。

学生支援センター

(学生支援・就職支援)

講座

● エントリーシート対策講座

四月十六日(木)、外部講師を招いて三年次生を対象にエントリーシート対策講座を実施しました。エントリーシートを書く上での注意点等の説明・解説があり、それらを踏まえて実際にエントリーシート作成に取り組みました。エントリーシート作成は就職活動において重要事項のひとつであり、本講座で学んだことを活かし就職活動の準備を進めて下さい。



● マナー講座(一年)

六月十八日(木)、新入生を対象としたマナー講座を実施し

ました。本学が取り組んでいる「マナー向上運動」の一環で、参加者は楽しみながら受講してました。



● 就職活動のためのマナー講座(三年)

七月九日(木)、三年次生を対象に就職活動のためのマナー講座を実施しました。就職活動開始に備えた講座であり、学生同士で挨拶の仕方など確認し合う実習を行いました。



就職支援

本学四年次生の内定状況(九月十五日現在)は、五四・六%と昨年度比プラス六ポイントと上昇した。学生支援センターでは今後も就職未内定者に対し、継続して個別に就職支援を行っていく。就職未内定者は積極的に学生支援センターを利用し、諦めずに就職活動を継続してほしい。

現四年次生より就職活動開始(「企業」の広報活動開始)時期が十二月開始から三月開始に変更となった。これにより就職活動期間が短くなるため、事前の準備が今まで以上に重要となる。大幅な就職活動環境の変化により学生にとって不安が増しているが、後援会の皆様のおかげでも学生のサポートをお願い致します。

学生支援センターでは就職専門業者によるガイダンスや学内業界説明会など多数の就職関連イベントを実施予定である。積極的にこれらのイベントに参加し、最新情報を収集して自身の就職活動に活かしてほしい。

就職支援にあたり、関係者の皆様のご協力をお願い致します。

食品学科

これからの食品学科

食品学科長 丸井 正樹



開学から十年を経て、大学としての形を成したことは喜ばしいことです。食品学科も二コースが定着し、フードビジネスコースのさらなる充実化を目指しています。これからの十年は質の向上とともに完成されたコースを確立していくことになりま。そのために必要なことはたくさんあります。まずは、後援会のみなさんご意見を参考にすること。学生の目を通してみた大学の姿を保護者としてお考えになったことは、大学改善にとって重要なポイントです。次に、大学認証評価で受けた意見をはじめ、文部科学省等で行われているこれからの大学に向けての留意点。大学のあり方は時代ごとに異なり、時とともに変化してきました。今の社会が求めている大学であるため

には、様々な意見や指導に耳を傾けなくてはなりません。教育方法においても柔軟な姿勢で取り組むことになるでしょう。そして、フードビジネスコースの充実化を主とした学科全体像の再考。現在の食品学科のカリキュラムは食品分野すべてにわたって科目が配置されています。しかしながらビジネス系科目では非常勤講師に頼る傾向にあります。食品産業における安全性管理や経営管理、消費者も含めた食生活文化等の各分野に専任の教員を置き、学生が卒業研究として十分に学べる体制に整えたいものです。本学科の学生たちが食品業界でリーダー的存在で活躍するためには、食品関連分野を広く学び、どの分野においても臆せず取り組める自信を持つことが大事です。必要なことを限なく吸収して社会に旅立つ晴れ晴れした顔の学生たちを送り出すことを思いつつ、充実のフードビジネスコース、完成された食品学科に向けて努力します。



新入生宿泊研修

学友会活動報告

●学友会総会・部・同好会説明会

四月八日(水)、「学友会総会」が開催され、新役員の選出や新年度の行事予定などが報告されました。

引き続き、「部・同好会説明会」が開催され、各団体が熱心に新入生の勧誘を行いました。



●新入生歓迎会

四月二十三日(木)、「新入生歓迎会」が開催され、葛飾区健康部長(葛飾区保健所長兼務)中西好子氏より、「食と公衆衛生」と題した特別講演が行われました。食の安全対策や食育推進の概要について新入生にも深く興味関心をもつ講演になりました。特別講演に続き、豪華賞品が当たる抽選会が行われ、非常に盛り上がった新入生歓迎会となりました。

●体育祭

五月二十二日(金)、本学第一グラウンド(船橋市)で、体育祭が開催された。一年次生はほぼ全員が参加し、出席率一〇〇%のクラスが三クラスあった。上級生も多数参加し、過去最高の出席状況でした。



当日は教職員参加の競技も多数あり、学生間だけでなく、教職員との親交も深める一日となりました。

●聖栄葛飾祭(大学祭)予告

今年度の「聖栄葛飾祭」は、十一月七日(土)・八日(日)に開催されます。テーマは「食で広がる笑顔の輪」に決定しま



あぐりによる花植え

した。今年も地元地域密着の大学祭として、葛飾区の後援や地元地域の協力等を得て開催されます。たくさんの方のご来場を心よりお待ちしております。

●部・同好会活動
平成二十七年の学友会認可団体は、部六団体(体育系・四団体、文化系・二団体)、同好会十三団体(体育系・六団体、文化系・七団体)の計十九団体です。各団体が熱心に活動しており、学年・学科を超えて交流する場ともなっています。また、地域イベントやボランティア活動等、学外行事等への参加も年々増加しています。今後も大学関係行事への参加協力や学外でのさらなる活躍が期待されます。



副会長挨拶

後援会副会長 福本 雅則



澄んだ青空をわたる秋風が快い季節です。会員の皆様には、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。また、日頃後援会活動へのご理解、ご協力ありがとうございます。

私は、本年度副会長にご指名を賜りました福本と申します。会長とともに、少しでも活動のお役に立てるよう取り組んでいきたいと思えます。宜しくお願いたします。

さて、六月六日(土)の開学十周年の記念式典に参加させていただきました。

当日の朝、私は各教室から担任の先生方に引率され整然と道路を会場に向かう学生の列とまたま同行する形になりました。学部時代の私の姿と重ね合わせ、「違いはなぜ?」という疑問。専門性の強い学びの場へ進んだ志の賜物?... 当時は私だつて...

会場へ向かう一団の会話と表情からまず一つの答えが浮かんできました。先生方と学生たちが、適度な距離感をもちつつ親近感、信頼感をもっていることです。学びの場において親近感や信

頼感の共有は、どの校種でも大切なことだと思えます。

そして、私の一つの答えは、式典後の懇親会で確信に変わりました。それは、あちこちで恩師を囲む年配の卒業生の姿を目にしたときです。半世紀以上に亘り専門性を重視しつつ、多くの卒業生との信頼感に根差した絆を大切にしている校風が、きめ細かな指導につながっているのだと。

管理栄養学科担任紹介

一年担任

渡辺 順子教授

一年副担任

星野 浩子助教

二年担任

岡田 弘教授

二年副担任

植松 節子准教授

三年担任

新村真由美准教授

三年副担任

大塚 静子講師

四年担任

鈴木 三枝教授

四年副担任

矢島 克彦助教



食品学科担任紹介

一年担任

伏脇 裕一教授

一年副担任

片山 佳子講師

二年担任

荒木 裕子教授

二年副担任

大内 和美助教

三年担任

筒井 知己教授

三年副担任

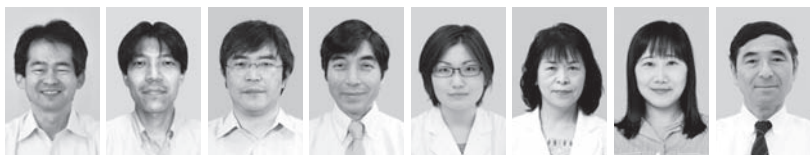
植芝 牧准教授

四年担任

岡本 直也教授

四年副担任

鈴木 等准教授



なお、各学年の教育・学生指導等において、助手の方々にもご協力いただいています。

後援会の寄贈

● 学生会へのパソコンの寄贈

学生会が使用するパソコン一台とプリンター一台を寄贈しました。学友会では、各種イベント

等の書類作成や企画書作成等に使用して役に立っています。



● デジタルサイネージキット

デジタルサイネージキット一台を寄贈しました。

● ステンレス製立看板
ステンレス製立看板十台を寄贈しました。



ステンレス製立看板

● 就職関係

病院・福祉・食品業界情報
管理栄養士職等で就職する求人見込先のデータとして『北海道・東北・関東・中部・九州・沖縄病院情報』をデータ及び一部書籍を、購入し寄贈した。学生は学生支援センター内のパソコンで自由に閲覧・加工ができる。また、就職活動の際のエントリーシート作成や筆記試験、面接対策などの関連書籍についても貸出を行っているので、学生に広く活用されています。

平成27年度後援会役員紹介

会長	仁則 孝子
副会長	雅友
会計	加代子 美子
監査	紀博 孝朋
監査	豊恵 幸智
役員	悦有 謙礼
役員	英純 啓弘
役員	由美子 枝子
役員	津季 薫美
役員	得晴 裕惠
役員	惠 (敬称略)
役員	木本 藤野 又簡 江本 井木 沢村 本口 田山 橋田 村塚 倉村 島永 岳沼 藤井 林
役員	鈴木 福加 大川 井大 橋櫻 鈴中 三岩 芹前 秋高 柴中 大勝 西五 松田 三越 佐新 小
役員	4NB 3FB 2FA 4NA 4FA 3NA 1FA 4NB 4NA 4FA 4NB 4FB 3NA 3NB 3NB 3FA 3FB 3FB 3FB 2NA 2NA 2NB 2FA 1NB 1NB 1FB 1NA 1FA 1FA 1NA